

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成20年3月

(平成20年2月末調査)

平成20年3月14日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【1月】	諏訪公共職業安定所管内	1.18倍	△0.12ポイント	
	岡谷公共職業安定所管内	1.46倍	△0.37ポイント	
手形交換高【2月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	10,409枚	△1,376枚	
	金 額	12,875百万円	△752百万円	
	うち不渡り発生状況	枚 数	0枚	△20枚
		金 額	0千円	△18,810千円
車庫証明取扱件数【2月】(諏訪・岡谷自動車協会管内)		1,113件	△7.4%	
新設住宅着工件数【19年4月～20年1月】(諏訪管内)		1,362戸	△275戸	

地域の概況

●製造業

デジタル一眼レフカメラ関連企業の受注は高水準で推移しており、液晶関連の下請企業に受注が増加した企業がみられる。自動車関連部品の下請企業の受注は比較的安定しているものの、幾分弱含みの状況も聞かれる。工作機械関係では足元の受注は堅調であるが、先行きには慎重な見方をしている。金属製品加工の受注は幾分減少しており、電機関係で受注が増加したところもみられるが、金型の新規発注が幾分鈍くなっている。

引続き原材料の仕入価格の高止まりや原油価格の高騰が受注単価に反映されないなど下請企業の収益状況は厳しい状況にあり、円高や株安などから先行きに不安感が強く聞かれるなど、地域製造業の業況は弱含みの状況が続いている。

●商業

諏訪地方の2月の天候は、冬型の気圧配置が強まったことから、気温は平年値からかなり低く降雪量は観測開始から2番目に多かった。

食料品は中国製食品の安全問題から冷凍食品だけでなく、中国産の海産物・青果物の売上は低調であった。衣料品は、低い気温と降雪から例年では動き始める春物衣料の売れ行きは非常に低調であったが、例年は見切り処分となる冬物実用衣料の売上が貢献し好調であったとする店舗もみられた。

家電製品では、薄型TVの動きは引続き順調であり、価格の下がった春モデルの高性能パソコンが動き出している。

●観光業

2月は降雪に恵まれスキー場への入り込み客は好調であった。

蓼科・白樺湖・車山方面のペンションなどでは、宿泊客に頼らず日帰りのスキー客を対象にした喫茶やランチ営業にシフトし堅実な経営をしているところもみられる。

諏訪湖周の観光地は、週末のたびに降雪があったことやNHK大河ドラマ「風林火山」の放映終了により入り込み客は前年を幾分下回り、諏訪大社の上社・下社を合わせた2月の参拝客数は前年同月比9千人の減少の38千人と平年並みに戻っている。

●建設業

市町村の2月の発注工事は、建築工事2件49百万円、土木工事・下水道工事29件122百万円、その他工事7件17百万円の合計38件190百万円で、災害復旧工事があった前年同月比では△33件、△416百万円の減少となっている。

県関係の2月の公共工事（地元業者受注分）は19件799百万円で、平成19年4月～平成20年2月の累計契約額は7,072百万円と前年同期累計比では△358百万円の減少となった。

民間工事は、諏訪地方の1月の新設住宅着工件数は138戸で前年同期比67戸増加したものの、平成19年4月から平成20年1月までの累計着工件数は1,362件で前年同月累計比△275件となっている。

建築確認申請の厳格化により着工が遅れていた物件に工事開始の動きが出始めてきた。

●雇用

1月の有効求人倍率は、諏訪公共職業安定所1.18倍、岡谷公共職業安定所1.46倍で、諏訪地域の有効求人倍率は1.28倍と全国（0.98倍）及び長野県（1.10倍）を上回っている。

諏訪職安と岡谷職安を合わせた1月の新規求人（全数）は1,455人で前月比101人の増加、前年同月比△125人（△7.95）の減少となっている。また、新規求職者数は777人で前年同月比△53人（△6.4）の減少となった。

諏訪地域の有効求人倍率は、平成15年10月以降52ヶ月連続して1倍を上回っている。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	受注は企業により区々であるが、幾分弱含みの状況である。
コンデンサー	自動車向けコンデンサーの受注は堅調である。
プリンター	大型プリンター、サーマルプリンターの生産は堅調に推移している。
コンダクター・リレー	受注状況は安定している。

2. 輸送用機械

自動車	受注状況は企業により増加減少区々であり高水準の生産を続けている企業もあるが、弱含みとする企業もみられる。
ピストンリング・シリンダーライナー	メーカーは順調な生産を続けているが、下請企業の受注量は幾分弱含みとなっている。
船外機	新興国の需要増加などから、下請企業の受注は高水準で推移している。

3. 一般機械

工作機械	自動車関連の受注は幾分弱含みであるものの足元の受注は堅調である。先行きには慎重な見方をしている企業が多い。
専用機・省力機器	企業により区々であるが、総体での受注状況は弱含みの状況となっている。
搬送用機械	デジタル家電企業向けの受注は回復しており、食品関連企業向けは堅調に推移している。
金型	新規受注は弱めの動きとなっている。
アルミダイキャスト	受注状況は取扱い製品により区々となっているが、総体では幾分低調となっている。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの1月の生産台数は541万台で、前月比△21.8%減少、前年同月比27.7%の増加となっている。1月の出荷台数は国内出荷60万台、海外出荷527万台で、出荷台数全体では前月比△17.2%減少、前年同月比45.4%増加となっている。(カメラ映像機器工業会：2008年1月分から統計参加企業が増加したことにより、「対比」の定義が厳密ではないため、前月比、前年同月比の数値はあくまで「参考値」とする。)
プロジェクトター	地域デジタル一眼レフ関連の受注は引き続き旺盛となっている。メーカーの販売状況は良好であるが、海外生産比率の高まりを受け国内での部品加工は減少している。

レンズ 業界全体では海外生産が主体であるが、足元の受注が増加しているところもみられる。

5. 織 維

ニット 2月の寒気により小売段階での春物の動きは弱い。生産は春物から初夏物が主体となっており、サンプル出荷等で繁忙のところもみられる。

6. 食 品

寒天 今期の生産は平年並みとなった。食の安全問題から国産食品が見直されており、売上の増加を見込んでいる。

味噌 出荷は平年並みであるが、原材料の仕入れ価格の上昇に苦慮している。

7. 製 材

諏訪地方の1月の木造住宅着工件数は70戸で前年同月比13戸増加した。依然として需要は弱いものの、材木価格は高値圏に留まっている。

8. 建 設

公共工事 2月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所10件、林道治山工事関係5件、その他4件の合計19件、契約金額799百万円となっている。平成19年4月～平成20年1月の累計契約額は7,072百万円で前年同期累計比では△358百万円減少した。市町村の2月の発注工事は、建築工事2件49百万円、土木工事・下水道工事29件122百万円、その他工事7件17百万円の合計38件190百万円で、災害復旧工事のあった前年同月比では△33件、△416百万円の減少となった。

民間工事 諏訪地方の1月の新設住宅着工件数は138戸で前年同期比67戸増加したものの、平成19年4月～平成20年1月までの累計着工件数は1,362件で前年同月累計比△275件となっている。建築確認申請の厳格化により着工が遅れていた物件に工事開始の動きが出始めてきた。

9. 商業

諏訪地方の2月の天候は、冬型の気圧配置が強まったことから、気温は平年値からかなり低く降雪量は観測開始から2番目に多かった。

食料品は食の安全問題や原材料高による加工食品の値上げ、衣料品は例年になく不順な天候から各店舗では売れ行きに大きな影響があった。

衣料	低い気温と降雪から、例年は見切り処分となる冬物実用衣料の売上が貢献し好調であったとする店舗もあるが、春物衣料に品揃えをシフトしており売上が非常に低迷したところが多い。
食料品	中国製食品の安全問題から冷凍食品だけでなく、中国産の海産物・青果物の売上は低調である。また、加工食品の値上がりから客単価は上昇しているものの、収益性は回復していない。生鮮3品では精肉の動きが良い。
家電製品	薄型TVの動きは引続き順調であり、価格の下がった春モデルの高性能パソコンが動き出している。
自動車	諏訪・岡谷を合わせた2月の車庫証明件数（軽自動車除く）は1,113台で前年同月比△89台（△7.4%）の減少、軽自動車の販売台数は405台で前年同月比△126台（△23.7%）の減少となった。
ホームセンター	生活関連商品の動きは堅調であったが、例年は動き出す園芸資材の動きは天候の影響から低調となった。

10. 観光

2月は降雪に恵まれスキー場への入り込み客は好調であった。日帰りのスキー客も多く、ペンションなどでは宿泊客に頼らず、喫茶やランチ営業にシフトし堅実な経営をしているところもみられる。

諏訪湖周の観光地は、週末のたびに降雪があったことやNHK大河ドラマ「風林火山」の放映終了により、入り込み客は前年を幾分下回った。

上諏訪温泉	総体での宿泊客数は前年比10%程度の増加となった模様だが、ホテル旅館により前年比増減の差が大きくなっている。
蓼科・白樺湖・車山	宿泊客数はホテル旅館により区々であるが、総体では前年並みの模様。ペンションなどでは喫茶やランチ営業にシフトし堅実な経営をしているところもみられる。
下諏訪温泉	宿泊客数は前年を幾分下回ったところが多いが、日帰り宴会の増加しているところもみられる。
諏訪大社	上社・下社を合わせた2月の参拝客数は38千人で、前年同月比9千人の減少となっている。週末のたびに降雪があったことやNHK大河ドラマ「風林火山」の放映終了により、平年並みに戻っている。